

すくすくげんき通信



明野しいのみ保育園　令和８年８月 31 日発行

今年の中秋の名月は９月２５日。この日は月をながめ、お団子を食べたりします。月の模様は日本では「おもちをつくウサギ」と言われていますが、世界ではカニやロバ、ライオンなどさまざまだそうです。月の模様がどんな形に見えるのか子どもさんと一緒に眺める時間も素敵ですね。お月見は豊作を祈願し収穫物に感謝する日でもあります。健康を願いながらお月見を楽しんでみてください。



ケガをしたときは

「やけどをしたら冷やす」、「鼻血が出たら小鼻を押さえて下を向く」こうした応急処置はケガや病気を治すための大事なはじめの一歩です。すぐに手当てをすれば、バイ菌が入ってひどくなるのを防いだり、痛みが減ったりして早く治りことにもつながります。ケガの痛みや腫れを抑え、回復も早くできるのが〝**RICE**〟です。RICEとは Rest **安静**、Icing **冷却**、Compression **圧迫**、Elevation **挙上**という応急処置です。



ケガをしたとき、その場の対処で治療がかわることも。強い痛みがある、腫れがひどい、変形している、出血が止まらないなどの症状があるときはすぐに病院受診をしましょう。子どもさんは症状をうまく伝えることができない場合もあります。ひどく泣いているなどいつもと違うと感じたときも病院への受診をオススメします。



「いつか」のために、今できること



先月、熊本で最大深度７を観測する大きな地震が発生しました。自然災害（地震、台風、大雨など）はいつ起こるかわかりません。「まだ大丈夫！」と思っているうちに災害が起こり動けなくなることもあります。だからこそ大切なのは日頃からの備えです。園でも、子どもたちの大切ないのちを守るために月に１度避難訓練を行っています。ご家庭でも「地震が起きたらどうするか」「家族が離れているときはどこに避難するか」など防災の日を機会に確認してみてください。

☆画像は園での避難訓練の様子です。







※お仕事などで出張へ行かれる際など、緊急時の連絡先を必ず教えて下さい。